

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 10. 16

下水道機構の『新技術情報』 第304号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今朝の通勤電車内は暖房がついていました。今季初かな？急に寒くなりましたが、本日、台風21号が発生しており今年ラストの接近台風になりそうとのこと。今後の台風の動きに注意が必要です。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第304号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・10月の技術サロンは、川崎市上下水道局下水道部下水道計画課担当課長岩淵光生氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、10/18(水)に第5審査証明委員会を、10/20(金)に第1審査証明委員会を開催します

■Tea Break

・秋の香り（総務部 ペンネーム BBA さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる

・本日のゆいまーるは、東京都下水道局第一基幹施設再構築事務所Nさんからの投稿です！

■国からの情報

・10/13付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

●10月の技術サロンは、川崎市上下水道局下水道部下水道計画課担当課長岩淵光生氏をお迎えして開催しました。

今回のテーマは「アセットマネジメント情報システムを活用した川崎市下水道の事業運営」でした。

岩淵課長は、平成 20 年に国土交通省に入省、環境行政、嘉瀬川ダム工事、独立行政法人改革に関する業務に従事された後、下水道部流域管理官付にて合流式下水道の改善事業をご担当され水の再利用の国際標準化等に取り組み、その後、平成 26 年度に常陸河川国道事務所調査第一課長として那珂川、久慈川の河川計画の立案に携わられました。そして平成 28 年度より川崎市に出向され現職にてアセットマネジメントの推進に取り組み、ご活躍されています。

講演内容は、川崎市の下水道事業を取り巻く現状、川崎市上下水道ビジョンと中期事業計画について、そしてアセットマネジメント導入の取り組み内容についてでした。

川崎市の下水道は、昭和 6 年、浸水対策として建設に着手して以降の事業推進により、平成 28 年度末には汚水人口普及率 99.5%に達し、建設改良費は平成 5 年度の 571 億円をピークに、現在は約 180 億円程度で推移しているそうです。こうした下水道の整備が進んだ状況において、川崎市上下水道ビジョン及び中期事業計画は、地震津波対策、浸水対策、省エネ化、施設の老朽化対策などの現在における課題に対し、新下水道ビジョンや川崎市総合計画などの上位計画を踏まえ、将来を見据えた計画となっているとのことです。

アセットマネジメントについては、管きよの計画的補修、再整備進捗率など各種指標の設定、全施設を対象としたリスクマネジメントの実施、中長期的な財政収支予測を踏まえ下水道機能の維持と向上を適切なレベルで実施、などを基本方針として、平成 25 年度導入に向けた基礎検討（基本計画）に着手しました。現在は基本方針の検証見直しを行いながら、施設台帳システム、維持管理システム、事業計画管理システムなどの新規構築や機能追加を行い、さらに各システムが連携したアセットマネジメント情報システムの構築を実施しており、平成 32 年度の本格運用を目指しているそうです。先進的な事例の紹介とあって、皆さんの関心が高く定員に達し、また講演後も多数の質問を頂き大変盛況のうちに閉会となりました。

さて、次回の技術サロンは 11 月 9 日（木）16:00 から 17:00 での開催となります。「JS 技術開発計画（4 次計画）について」と題し、日本下水道事業団技術戦略部 橋本上席調査役を講師にお招きしご講演いただきます。

皆さんの事業の参考になることと思います。多数のご参加をお待ちしております！
※参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第 2 回第 5 審査証明委員会

場 所：神戸市、加古川市

日 時：平成 29 年 10 月 18 日（火） 9:00～15:30

案 件：H29 年度新規申請案件の現場試験立会・審議

●行事：第2回第1審査証明委員会

場所：塩竈市

日時：平成29年10月20日(金) 9:00~15:30

案件：H29年度新規申請案件の現場試験立会・審議

○行事：第364回技術サロン

場所：機構8階 中会議室

日時：平成29年11月9日(木) 16:00~17:00

講演者：日本下水道事業団 技術戦略部 橋本上席調査役

テーマ：「JS技術開発計画（4次計画）について」

※参加申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○第67回下水道新技術セミナー「地域バイオマスの展開」

【大阪会場】日時：平成29年11月17日(金) 13:00~16:45(受付12:30~)

場所：大阪科学技術センター

【東京会場】日時：平成29年11月28日(火) 13:00~16:45(受付12:30~)

場所：東京都港区 発明会館

【定員】大阪会場120名、東京会場250名、

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●秋の香り（総務部 ペンネーム BBAさんからの投稿です）

凜とした空気の中を金木犀の甘い香りがどこからともなく漂ってきます。金木犀の香りにまつわる思い出がひとつあります。

当時通っていた高校はサッカーの強豪校でした。ちょうど金木犀の咲く10月頃から全国高校選手権大会の地方予選が始まります。クラスメートが選手だったので友人たちと応援に行くことになりました。かなり予選は進んでおり、準々決勝くらいだったと思います。それがサッカーの試合を生で見た最初でした。グラウンドは土で観客席もない、どこかの高校の校庭であったと記憶しています。それでも迫力は物凄く、選手の真剣さやパワーに圧倒されました。皆すっかり魅了され、準決勝、決勝とワクワクしながら応援したのを覚えています。その後全国大会に出場し、優勝した時は熱狂の頂点でした。

あの年の秋、友人たちと共有した感動と興奮は金木犀の香りと共に思い出として刷り込まれ、今なお鮮やかに蘇ります。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。

●本日のゆいまーるは、東京都下水道局第一基幹施設再構築事務所Nさんからの投稿です！→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-10-16>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション (2017. 10. 13 付 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====
ある方から「下水から金 2 億円相当を発見、銀やレアメタルも」の情報をいただきました。以前、国内でも同様な話がありました。なんとも夢のある話ですね。

今週の参考情報の掲載しています。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ISO/TC275 (汚泥の回収、再生利用、処理及び廃棄) ワークショップ聴講のご案内

((一社) 日本下水道施設業協会)

○下水道光ファイバー技術講習会の開催案内 ((一社) 日本下水道光ファイバー技術協会)

○平成 29 年度 下水道管路管理セミナー及び第 19 回下水道管路管理技術発表会の開催

((公社) 日本下水道管路管理業協会)

○平成 30 年度河川基金助成の募集を開始 (河川財団)

=====
○ISO/TC275 (汚泥の回収、再生利用、処理及び廃棄) ワークショップ聴講のご案内

((一社) 日本下水道施設業協会)

ISO/TC275 は「汚泥の回収、再生利用、処理及び廃棄」にかかわる国際規格の作成を

目指して活動している専門委員会で、日本は、7つの作業部会(ワーキンググループ: WG)のうち、特にWG5(熱操作)とWG7(無機物及び栄養塩類の回収)の活動に注力して参加しています。

このたび、第5回全体会議が日本(横浜市)で開催されることになりました。全体会議では、各作業部会のほかに、ワークショップ「汚泥からの資源回収」が併催されます。

このワークショップではWG7に関連し、汚泥からの資源回収に関する各国の取組みについての講演(英語(通訳なし))が予定されており、どなたでも聴講が可能です。聴講希望の方は、10月27日(金)までに、登録フォーム

<https://wss3.5star.jp/survey/index/peb9j05d> よりお申込みください。

申し込みは定員になり次第、終了となります。

当日は申込完了画面からリンクするPDFファイルをプリントアウトして、会場受付でご提示ください。

記

1. 名称: ISO/TC275 ワークショップ「汚泥からの資源回収」
(第5回 ISO/TC275 全体会議 併催イベント)
2. 日時: 平成29年11月6日(月) 9:30~12:00
3. 場所: 日本丸メモリアルパーク 訓練センター 第1・2教室
(JR・横浜市営地下鉄ブルーライン 桜木町駅から徒歩5分)
4. 講演内容(予定): 各国における汚泥処理に係る施策及び技術開発の取組み
(講演者)
Mr. Jyrki Laitinen(フィンランド)
Mr. Jean-Marc Audic(フランス)
Mr. Christian Kabbe(ドイツ)
土屋 美樹氏(国土交通省下水道企画課)
※全講演: 英語(通訳なし)
5. 主催: 地方共同法人日本下水道事業団、一般社団法人日本下水道施設業協会
6. 問い合わせ: 一般社団法人日本下水道施設業協会 技術部長 堅田 智洋
電話 03 - 3552 - 0991 E-mail: katada@sisetsukyo.jp

○下水道光ファイバー技術講習会の開催案内((一社)日本下水道光ファイバー技術協会)

当協会は、国土交通省の支援に呼応し、下水道光ファイバーの敷設に関する技術普及に努め、自治体の構想策定や様々な調査、事業展開をご支援して参りました。この活動の一環として本年度も「下水道光ファイバー技術講習会」を開催いたします。

今回は、国土交通省のご講演「下水道を取り巻く最近の動向」をはじめ、ICTを活用した浸水対策のリーフレット作成報告、下水道 ICT 社会推進に向けた検討会の活動報告、下水道光ファイバー技術マニュアルの解説と、例年以上の充実を図っております。皆様からの多数のお申込みをお待ち申し上げます。

なお、本講習会は、土木学会継続教育(CPD)プログラム認定を受けており、受講さ

れた方には受講証を発行いたします。(認定番号 JSCE17-0814)

[土木学会継続教育(CPD)制度: <http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd>]

【日 時】 平成 29 年 11 月 17 日(金) 9:30~16:30

【会 場】 (公社)日本下水道協会 5階会議室

【ご参加方法】 申し込みは、当協会 HP (<http://www.softa.or.jp/>) をご覧の
うえ、11月6日(月)までにお申し込み下さい。

○平成 29 年度 下水道管路管理セミナー及び第 19 回下水道管路管理技術発表会の開
催 ((公社)日本下水道管路管理業協会)

当協会では、以下について、セミナー及び発表会を開催します。

多くの方にご参加いただければと思います。

◆平成 29 年度 下水道管路管理セミナー

今年のテーマは、「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」の
「施工管理を中心とした要点と活用における留意点」についてです。

進行役は 2017 ミス日本「水の天使」の宮崎あずささんが務めます。

・日 時:平成 29 年 11 月 8 日(水) 9:30~12:40 (9 時 10 分より受付)

・会 場:発明会館 地下ホール(東京都港区虎ノ門 2-9-14)

詳細→ http://www.jascoma.com/event/year/2017/20171108_002/index.html

◆第 19 回下水道管路管理技術発表会

管路管理に従事する実務者により、様々な事例をご紹介します。

上記セミナーと同様に、宮崎あずささんが進行役を務めます。

・日 時:平成 29 年 11 月 8 日(水) 13:30~16:30 (13 時より受付)

・会 場:発明会館 地下ホール(東京都港区虎ノ門 2-9-14)

詳細→ <http://www.jascoma.com/event/year/2017/20171108.html>

○平成 30 年度河川基金助成の募集を開始(河川財団)

河川財団基金事業部が平成 30 年度河川基金助成の募集を平成 29 年 10 月 1 日から開
始しました。本基金は多くの方々に活用され、人々の河川への理解と人と川との絆が
深まることを願って助成されているものです。本基金の助成対象テーマとして、流域
内の健全な水・物質循環の構築もありますので、興味のある方は以下の URL をご覧頂
くようお願いします。

河川基金 募集について

<http://www.kasen.or.jp/kikin/tabid290.html>

=====

【参考情報】

- ◆下水から金 2 億円相当を発見、銀やレアメタルも スイス
〈10/12 CNN.co.jp〉 <https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20171012-35108658-cnn-int>
- ◆川崎地質、AI で路面下空洞の解析サービス?下水道管老朽化に対応 〈10/12 日刊工業新聞〉
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00446230>
- ◆マンホールメモ帳に大喜び ムツゴロウなどデザイン 〈10/12 佐賀新聞LIVE〉
<http://www.saga-s.co.jp/articles/-/135255>
- ◆マンホール愛好者よ 倉敷に集まれ 11月に中四国初のサミット 〈10/8 山陽新聞digital〉
<http://www.sanyonews.jp/article/609026/1/>
- ◆神戸市とキエンザン省が覚書を再更新、上下水道などで協力 〈10/2 VIETJO〉
<http://www.viet-jo.com/news/nikkei/170930115945.html>
- ◆マンホールふたデザインの総選挙 奈良・生駒で10月1日から投票 〈9/30 産経WEST〉
<http://www.sankei.com/west/news/170930/wst1709300029-n1.html>
- ◆人工衛星で工事地表を測量、フレキシブルに広範囲を計測可能に 〈9/27 BUILT〉
<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1709/27/news023.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
